

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

今後望まれる企業（新・新常态）

フィリップ・コトラー（マーケティングの父、米ノースウェスタン大学経営大学院教授）

1. 昨今、「新・新常态」について考える人が出てきた。この次の状況になると、商品の主役となるのは「お値打ち」ではなく、「シンプル」さだと私は考えている。モノを持ちすぎず、クルマも所有しない。ドライブするときは借りる。電子機器も、最新の機器にこだわらない。特に多くの日本人家庭では、そもそもモノをたくさん置くスペースがないだろう。家族で住んでいれば、何をかうかについてより注意を払わなければならない。
2. 例えば「散らかす」という言葉があるが、散らかった生活であるべきではない。これからはシンプルで、なるべく散らかさない生活を人々は求めていくのではないか。人の家に入ってクローゼットを眺め、「この服はまだ着ますか？」「あなたは靴を50足も持っていますね」と指摘することを職業にする人たちが現れた。言い換えると、現代は、片付けを助けることを仕事にできるほど、散らかった環境に暮らしているということだ。それはわざわざ、長持ちしない服を作るからだ。
3. その点、アウトドア用品の米パタゴニアは、望ましい企業の例だ。長持ちするシンプルな服を作ることひょうぼうを標榜している。もしほつれても修繕できる。もっとたくさん売ろうとは考えず、ベーシックなニーズに見合ったものを作る。これは私が考える「新・新常态に必要とされるビジネス」のイメージに近い。

（参考：「日経ビジネス」2020年11月9日号）

経営者のための危機管理

世界的な株価暴落に警戒（2021年）

1. 2021年の世界経済はどうなるのだろうか。コロナ禍や米大統領選挙の混乱でも堅調だった世界の株式市場が、いよいよ暴落するのではないかと心配している。世界的な株価暴落あるいは信用収縮は7年周期という説がある。法則どおりなら14年～15年頃に世界的な株価暴落があるはずだったが、いまだにきていない。この理由についてリーマンショックが2回分だったからという解説がある。
2. だとすると21～22年に次ぎの谷があるということになる。では世界的な株価暴落の引き金を引く材料は何だろう。それは米中間の不測の事態ではないか。長老たちに米国との関係改善を求められている習近平国家主席は、それでも「戦狼外交」をやめようとならない。2021年は米中関係と世界の株式市場から目が離せない。

（参考：「週刊東洋経済」：2020年11月21日号）

人事・労務について

注目を集める「チームング」

1. テクノロジーの進化や業務の複雑化が進む中、プロジェクト責任者や課長、マネージャーといったリーダーだけで業務全てを動かすことは難しい。そのため必要なスキルや知見を持つ人をその都度メンバーに加え、チームづくりを行うケースが増加している。このような「流動的なチーム」が増える中、注目を浴びている考え方がある。それが「チームング（TEAMING）」だ。
2. 「チームビルディング」や「チームワーク」は、物理的に同じ場所において、メンバー間の信頼を築くことができる場合に使われる言葉といえる。これに対し「チームング」は、「物理的な制約に縛られることなくメンバー全員が常に学習し、進化し続けながら業務を遂行・洗練させていく」ことをいう。そのためリーダーには「対人不安」を払拭するため、①親しみやすい人になる②メンバーの意見を重視する③今の知識の限界を認める④失敗を受け入れる⑤具体的な言葉を使う⑥公正に対処する、等が求められる。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2020年11月7日号）

古典に学ぶ

義務を先に権利を後に

（解説）キリストや釈迦は始めより宗教家として世に立った人であるに反し、孔子は宗教をもって世に臨んだ人ではないように思われる。キリストや釈迦とは全然その成立を異にしたものである。殊に孔子の在世時代における中国の風習は、何でも義務を先にし、権利を後にする傾向を帯びた時代であった。

（参考：洪沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）